

## 我が国の歴史に誇りを持とう

公益財団法人  
新教育者連盟理事長 代田健藏

今から78年前(昭和20年)の8月、大東亜戦争が終了しました。

我が国は戦いには敗れたものの、戦争目的は達することが出来たと申せます。

日本の戦争目的はアジアの開放にありました。戦争前には、アジアでの独立国は日本とタイ国の2カ国のみで、インド・ビルマ(現ミャンマー)・マレーシアはイギリスの植民地、ベトナム・カンボジアはフランスの植民地、フィリピンは約100年間アメリカの植民地で、その前の約350年間はスペインの植民地、インドネシアは300年以上もオランダの植民地でした。

我が国は一度も外国の植民地になつたことがないため、日本人は植民地の苦しみも悲慘さも経験ありません。が、植民地にされた人々は家畜か奴隷のように扱われ、現代の日本で当たり前<sup>当たり前</sup>に享受している自由や、人権はおろか生命の保証も全くない状態でした。

日本には昔から「義を見てせざるは勇なきなり」の言葉があり、困っている人、苦しんでいる人を見逃<sup>おぼろ</sup>しにするのは、人として恥<sup>かたじけ</sup>ずかしい事だとの考えが強くあり、植民地にされ、言語を絶する苦難に喘<sup>あは</sup>ぐアジアの人々を救う為に立ち上がったのが大東亜戦争であったのです。そのことを、タイ国のククリット・プラモード元首相は「日本のおかげで、アジアの諸国はすべて独立した。日本というお母さんは難産して母体を損<sup>こ</sup>なしたが、生まれた子はすくすく育っている。今日、東南アジアの諸国民が米・英と対等<sup>たいとう</sup>に話<sup>かた</sup>が出来るのは、いったい誰のおかげであるのか。それは「身を殺して仁<sup>に</sup>をなしたお母さんがあったためである」と述べている(松浦光修先生著「神々の日本史」経営科学出版)



「生命の教育哲学」創始者 谷口雅春先生御揮毫

自分に誇りをもち 親に誇りをもち 祖国日本に誇りをもち 青少年を育成する

責任編集  
公益財団法人 新教育者連盟

## 生命の教育

令和 5 年 8 月号 もくじ

巻頭のこぼれ 新教育者連盟理事長 代田健藏

我が国の歴史に誇りを持とう

## 特集 平和と愛国心について考えよう

- |    |                             |       |
|----|-----------------------------|-------|
| 5  | 日本人が日本的であることが、世界のためになる      | 谷口雅春  |
| 8  | 限りなく、この国を愛す                 | 岩倉涼子  |
| 10 | 「生命の教育」創始者谷口雅春先生から学んだこと     | 井関隆文  |
| 12 | 日本はこんな国々に囲まれている—中国・朝鮮半島・ロシア | 勝岡寛次  |
| 14 | 国旗に誇りをもち大切にしましょう            | 浅川正人  |
| 16 | 愛国心は自分自身への自信につながる           | 佐瀬さや香 |

18 〈シリーズ〉生命の教育とは(5)

(公財)新教育者連盟理事長 代田健藏

- |    |  |  |
|----|--|--|
| 17 | 子育てワンポイント(74) 英霊の「献身」を伝える  | 出口正博                                   |
| 20 | 子育てQ&A 対人関係が苦手な子供たちを変えたい<br>平気でお金を持ち出す息子<br>落ち着きのない子供に責任を感じる<br>大学進学に消極的な高校1年の息子<br>娘が不登校にならないかと心配 | 大原和子<br>小林義典<br>杉山紀代子<br>鎌倉弘行<br>執行ひろみ |
| 25 | 子育ては母育て(129) 不慮の事故の防止策①  | 田下昌明                                   |
| 26 | 世界がおどろく日本の魅力(30) 世界に冠たる火の文化の国・日本   | 井上雅夫                                   |
| 27 | 日本国憲法の問題点(94) アメリカ人から見た日本国憲法(2)<br>日本のしきたり(68) 「処暑」  | 勝岡寛次<br>辻川牧子                           |
| 28 | 親子で読むものがたり(131) 国歌「君が代」を大切にしましょう   | 南 敏雄                                   |
| 30 | 新教連活動あらかると<br>◇ 創立70周年記念新教連全国研修会の報告、入選作文の紹介、<br>第4回小・中学生の作文募集、新教連令和5年度の運動方針 ほか<br>◇ 8月の支部行事        |  |
| 34 | 事務局短信・編集後記・次号案内  |  |

## 生命の教育 七つの心得

- 一、子供に宿る善性を信じ、これを引き出し伸ばし、育てます。
- 二、どの子の個性も尊重し、この世に生まれた使命を生かします。
- 三、よい習慣をしつづけて、正しいしつけをいたします。
- 四、問題の子供は心の病氣、実は優柔児の仮の姿で、観方を一転します。
- 五、親が変われば子が変わる。何よりもまず、明るい家庭をつくります。
- 六、いつもニコニコ、やさしいコトバ、認めてほめて、たたえます。
- 七、花咲くことを疑わず、信じて気ながに育てます。

